















WCOキットの組み立て方

現在開発中の基板の一部の機能を使って、IM920を使った 送信・受信IoTデバイスを作ることができます。

恐れいりますがソフトウェアは開発中ですのでキットをご購入いただいた方がSTM32とIM920の資料を参照いただいて

さくせいください。 別売りの 330Ω IM920 VIDER LEVEL EN LEVEL を取り付けて $2.7k\Omega$ ください

OPPENDICTOR OF THE

ボードに パーツを取り付 けます

VIN- MT3608 Boost DCDC VOUT

STM32ボードを 組立てます

リードスイッチ ノーマルONタイプ がキットに入って います

裏側。 電池を直接 スイッチ部分につけて 電源スイッチを省略 しています

> ■源スイッチナジ でSTM32の スリープを活用し、 数カ月電源を持つ ようにします。

·スに入れたところ。 キットに更に磁石式 のキャッチャーとプラグを追加、 ケースに穴を開けてプラグが 内部にくっつくようにして います。

STM32ボードの 代わりにNanoPiを つなげるとき (オプション)

18650電池 キットといっしょに購入 した場合はLiFePo が入っています

4 571268 755248

¥90 ma

NanoPi Neo 電源はUSBから

ロングピン



ケースの防水は 追加で対策してください

> キャッチャー、プラグは このような機材で 作ります。

NanoPi から IM920に電源を 供給します

